

# 6 災害に対する備え～自主防災活動

大規模な災害が起こった場合、行政や消防の救援は、同じような被害が市内のいたるところで発生したり、道路が分断されたりしてなかなか辿り着かない可能性があります。

そこで、日ごろ地域で顔を合わせている地域住民の皆さんが、お互いに協力し合いながら自主的な防災活動に取り組むことが重要になってきます。

住民一人ひとりが「自分の命は自分で守る、自分たちの地域は自分たちで守る」という考え方のもと、災害発生時はもちろん、平時からも地域の皆さんと一緒に防災活動に取り組むための組織、それが「自主防災組織」です。

地域での防災力を確保していくためには、①自助（自らの力で行う）②共助（自主防災活動で地域住民が助け合う）③公助（消防・警察・行政等公的機関が支援を行う）の活動が密接に組み合わせられることが重要です。

## 自主防災組織

- 住民参加の避難訓練
- 災害時要援護者の避難支援
- 情報伝達網の作成



### 行政、公的機関等

- 水防本部の設置
- 避難所の開設
- 避難勧告等の発令
- 災害情報の伝達



### 地域住民



- 避難場所、経路の確認
- 非常用バッグの準備
- 食糧などの備蓄



### 【自主防災組織の主な活動内容】

#### 【平常時】

- ①住民の避難訓練
- ②災害時要援護者の把握
- ③住民への情報伝達網の作成
- ④地域の危険箇所マップの作成

・・・など

#### 【災害時】

- ①避難勧告など災害情報の伝達
- ②住民の避難誘導
- ③初期消火
- ④災害時要援護者の避難支援

・・・など